



今年も届いた大きいいりんご
「上田東高校の生徒会の皆さん
ありがとうございます。」



今年も届いたおいしいりんご
長野県立上田東高校の生徒会の皆さんからのプレゼント



今年も届いた長野のりんご みんな2こずつ「ありがとう。」

尼崎養護学校創立五十周年記念誌から



平成 20 年 10 月 尼崎養護学校の創立五十周年記念に招待され、養護学校の児童生徒と歓談する上田東高校生徒会役員

風船が結んだ友情 長野県立上田東高校との交流

夢のせて

昭和33年10月26日、尼崎養護学校第1回の運動会の記念に私達の思い（学校ができたこと、こうして運動会ができることの喜びを多くの人に知ってほしい、そしてお友達になってほしい）を風船に託しました。全生徒が「学校名、氏名、拾ってくださった方はお返事ください」のメッセージと願いを込めて短冊に書き風船に結びつけました。返信が来ることを期待し、夢を膨らませた色とりどりの風船が大空を舞い上がっていった光景は鮮明に記憶に残っています。

「ウァー、きれい！」と叫びながら風船が小さくなるまで空を見上げていました。「わぁー、すごい！」



S33.11.9産経 新聞記事より

初めての対面

昭和34年3月24日に傍陽分校の皆さんが修学旅行で大阪に来られる事を知り、大阪城へ先生と生徒10人ほどで出迎えに行きました。

雨模様の午後でしたが、雨の事など気にならず大阪城の入口の所で、まだかまだかと胸躍らせながら待っていました。私達が待っている所へ人が集まって来るので何かあるのかなあと考えていました。私達のことを取材するために新聞社の方が来られていたのです。多くの記者さんに囲まれて私達はびっくりしました。

お兄さん、お姉さんの姿が見えた時嬉しくて胸がいっぱいになりました。

会えた時の感動は今もしっかり覚えています。お互いにプレゼントの交換をしました。

わずかな時間の交流でしたが一生忘れられない思い出の大阪城になりました。



S34.3.25 朝日新聞記事より

上田東高との交流の軌跡

昭和40年3月20日修学旅行で大阪に来られ生徒会9名の方が本校にりんごの苗木を持って来られました。次の日に大阪城で交歓会をしました。

昭和41年3月23日修学旅行で来られ大阪城でお会いしました。

昭和45年9月大阪城で交歓会をしました。

昭和53年10月2日創立20周年に生徒会長、生徒会役員そして先生がお祝いに来て下さいました。

昭和63年8月15日高校野球の長野県代表で甲子園に出場されました。全校で応援に行きました。

平成元年創立30周年記念行事の式典に招待しました。先生と生徒の方が来て下さいました。

夏の甲子園球場

昭和63年に長野県代表で上田東高校が甲子園に出場する事を知り、生徒会が中心となって横断幕を作りました。勝ち進んで欲しい願いを込めて自分達の力の限り必死にペンを動かして応援グッズを作り上げました。

上田東高校が出場する日には、全校で甲子園球場へスクールバスに乗って応援に行きました。上田東高校の皆さんと一緒に応援した喜びは友情がまた深まった思いがして本当に嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

毎年、夏が来ると上田東高校が甲子園球場への出場が載っていないかと楽しみに新聞を見えています。



S63. 8. 6 読売新聞記事より



S63. 8. 15 読売新聞記事より(夕刊)

この美しい友情を私達は尼養の宝としていつまでも大切に伝え続けて行きたいと思っています。上田東高校の皆さんと出会えてお友達になれたことがうれしく思い感謝の気持ちでいっぱいです。(菅本友恵)



りんごの贈り物

返信1号

昭和33年10月28日付けの手紙が本校に届けられました。その手紙は350キロも離れた長野県からでした。桐本憲和君が飛ばした赤い風船が、はるばる長野県まで飛んで行ったのです。小鳥の調査をしていた長野県小県郡小県蚕業高校傍陽分校（現在 長野県立上田東高校）の生物の先生、六川憲七朗先生が山の本の枝にかかっている風船を見つけ、お手紙を下さいました。その手紙には風船を見つけた場所の地図と、もみじの葉を添えた手紙でした。それからが文通の始まりでした。そして、両校の生徒に交流の輪が広まり文通が始められるようになりました。

50年経った今でも数人の方が文通を続けられており、お友達以上のお付き合いをされています。

文通が始まったその年（昭和33年）のクリスマス前に心のこもったりんごが贈られて来ました。傍陽分校の生徒の皆さんが農園で作ったりんごを贈ってくださったのです。

その後、毎年贈られて来ています。愛情いっぱいのりんごとでもおいしくて楽しみにしていました。



傍陽分校は昭和41年に廃校になり上田東高校となりました。農場も無くなり、りんご園が無くなったため、この美しい友情の絆を絶やさずに続けて行こうと生徒会が呼びかけ、カンパを募り毎年りんごを購入して養護学校へ贈り続けて下さっています。上田東高校では、代々生徒会長に引き継がれ生徒会行事の一つになっています。

今も続けて下さっていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

上田東高校の皆さん50年間ありがとうございます。

りんごのプレゼントだけでなく両校生徒会の交流や文通は今も続けられています。